

ゴイシツバメシジミの郷を守る会 会報

# ゴイシツバメシジミの郷



平成25年6月18日  
シシラン葉芽挿し



平成25年8月2日  
ゴイシツバメシジミ分布調査

ゴイシツバメシジミの郷を守る会 事務局  
〒868-0701  
熊本県球磨郡水上村岩野2678 岩野公民館内  
電話：0966-44-0333 F A X：0966-44-0329

## 平成 25 年度日本昆虫学会九州支部・日本鱗翅学会九州支部合同大会での発表

九州大学総合研究博物館 杉本 美華

例年、日本昆虫学会九州支部は日本鱗翅学会九州支部との合同大会を開催しており、本年度は 11 月 30 日に長崎大学文教キャンパスにて同大会が開催された。筆者は「ゴイシツバメシジミの郷を守る会」の紹介とこれまで行われることがなかったゴイシツバメシジミの現状報告について、口頭発表を行うために同大会に参加してきたので、その報告を行う。

開催場所：長崎大学教育学部 SCS 教室（文教キャンパス、教育学部本館東側）

開催日時：平成 25 年 11 月 30 日（土）12:15~18:20

合同大会では口頭発表が 13 講演、ポスター発表が 12 講演、特別講演が 1 講演行われ、さまざまな昆虫群を対象にした多様な研究が発表され、半日という短い時間にもかかわらず内容の濃い大会であった。筆者はゴイシツバメシジミの具体的な現状報告と「ゴイシツバメシジミの郷を守る会」の紹介を行い、多くの方から本種の危機的状況を知ったことによる絶滅への心配や「郷を守る会」設立の賛同の声を頂いた。

または休憩時間や懇親会の時間に、ゴイシツバメシジミの保護・増殖・展示などの資料館建設要望への賛同者を集ったところ、九州内の大学、学会、昆虫研究会など多くの関係者の方々から賛同の声を頂いた。

講演要旨を文末に掲載する。

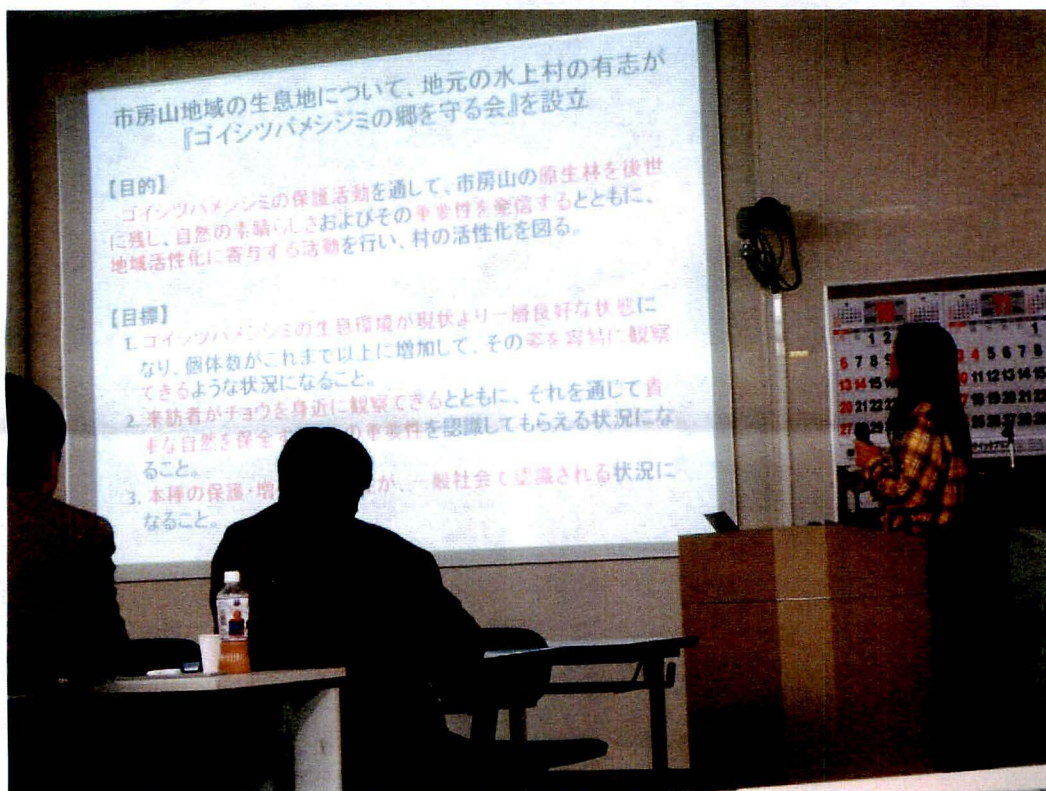


写真 1. 「ゴイシツバメシジミの郷を守る会」設立を紹介。



写真 2. 会によるシシラン増殖活動を紹介。

#### 【講演要旨】

タイトル：ゴイシツバメシジミと郷を守る活動報告その 1

演者：杉本美華 1、西 和人 2、三枝豊平 3 (1 九大博、2 ゴイシツバメシジミの郷を守る会、3 福岡)

ゴイシツバメシジミ *Shijimia moorei* Leech は、現在日本において最も絶滅の危機に瀕している蝶である。原生的な照葉樹林環境に依存する本種は、1973 年の発見以降、国の天然記念物などに指定され保護されてきた。しかし現在の行政による保護事業には限界があり、法的な指定を受けているにも拘わらず食草の違法採集など生息地の悪化や違法採集者の横行などにより個体群の絶滅が相次ぎ、現存する確実な生息地は熊本県内のわずか 2 ヶ所のみとなった。そこで本種の生息地である市房山地域の地元有志などにより「ゴイシツバメシジミの郷を守る会」が設立され、地元会員たちを中心として本種の保全活動が開始された。本会は「ゴイシツバメシジミの保護活動を通じて市房山の原生林を後生に残し、自然の素晴らしさおよびその重要性を発信する」ことを目的とし、食草であるシシランの増殖、ゴイシツバメシジミの生息状況のモニタリングや監視活動などを行っている。今回は今夏に行ったゴイシツバメシジミの生息状況について報告をする。

## 2013 年度の活動内容

**2013 年 5 月：「ゴイシツバメシジミの郷を守る会」会報第一号 発行・送付**

**2013 年 6 月 9 日：「ゴイシツバメシジミの郷を守る会」第一回総会@市房観光ホテル**

・午後 1 時より、役員会、総会、懇親会を行いました。

**2013 年 6 月 18 日：葉芽刺しによるシシラン増殖活動@市房観光ホテル**

・三枝先生に指導いただきました方法で、4 名の会員がプランターにシシランの葉芽刺しを行いました。

**2013 年 6 月 22 日～8 月 20 日：ゴイシツバメシジミ定点観測**

・成果は、「日本昆虫学会九州支部・日本鱗翅学会九州支部合同大会」において、杉本氏に発表していた

だきました。

### **2013年 8月2日：ゴイシツバメシジミ分布調査@市房山**

- ・これまで未確認のポイント一箇所でゴイシツバメシジミの生息が確認されました。

### **2013年 11月30日：日本昆虫学会九州支部・日本鱗翅学会九州支部合同大会での発表**

- ・当会、顧問の杉本 美華（九州大学総合研究博物館）に観測データの発表をしていただきました。

### **2014年 3月31日：「ゴイシツバメシジミ保護増殖施設整備に関する要望書」を村長宛てに提出**

・水上村のゴイシツバメシジミ保護増殖施設を整備する動きに連動し、ゴイシツバメシジミを水上村に残る自然のシンボリックな存在として、地域活性化につながるような施設となるよう要望書を提出しました。

・当会の他、水上村観光協会、湯山温泉旅館組合、水の上の学校（水上村の自然体験プログラムを推進する団体）、4団体による共同提案となりました。

## **会員構成（2014年5月31日現在）**

- ・個人正会員：13名
- ・個人賛助会員：15名
- ・顧問：(4名)
- ・事務局：1名 幸野 一樹（水上村教育委員会教育課内）

## **お知らせ**

### **会員募集**

個人正会員、個人賛助会員、法人会員を大募集しております。それぞれの年会費は以下の通りです。

- ・個人正会員：2,000円（会の趣旨に賛同される個人、かつ会の活動に参加可能な方）
- ・個人賛助会員：2,000円（会の趣旨に賛同される個人。但し会の活動に参加するのが困難な方）
- ・法人会員：5,000円（会の趣旨に賛同される法人）

会員登録された方には、毎年発行する広報とゴイシツバメシジミ観察会へのご案内等、保護活動に関する情報をお知らせ致します。申し込みは、添付の申し込み用紙へご記入の上 FAX（0966-44-0329）か直接事務局までお送り下さい。

### **広報原稿大募集**

広報に記載する原稿を、会員の皆さまから募集しております。ゴイシツバメシジミに関わらず、環境保全や市房山に関する記事でしたら何でも構いませんので是非ご投稿下さい。

## **後記**

・昨年より会としての活動を開始してからあっという間に時は過ぎ、またゴイシツバメシジミの季節が近づいて来ました。ここ数年、市房山では安定して発生しているようですが、シシンランの生育が一昨年あたりから芳しくなく懸念材料です。今年も元気に飛び交う姿が多数確認できることを心より願っています。

・水上村には、「水の上の学校」という自然体験プログラムがあります。市房杉を散策する「市房杉トレッキングツアー」をはじめ、「森林セラピーツアー」「栗山で秋を味わう学校」等さまざまなプログラムがあり、水上村の自然を大いに楽しむことができます。当会も、この自然体験プログラムと連携しながら、自然派が増えてくれることを願いつつ、自然との共存につながるよう活動を行っていきたいと考えています。

・照葉樹の原生林が残る証であるゴイシツバメシジミは一見の価値があります。見たことがない方は、ご案内しますので、是非見に来てください。